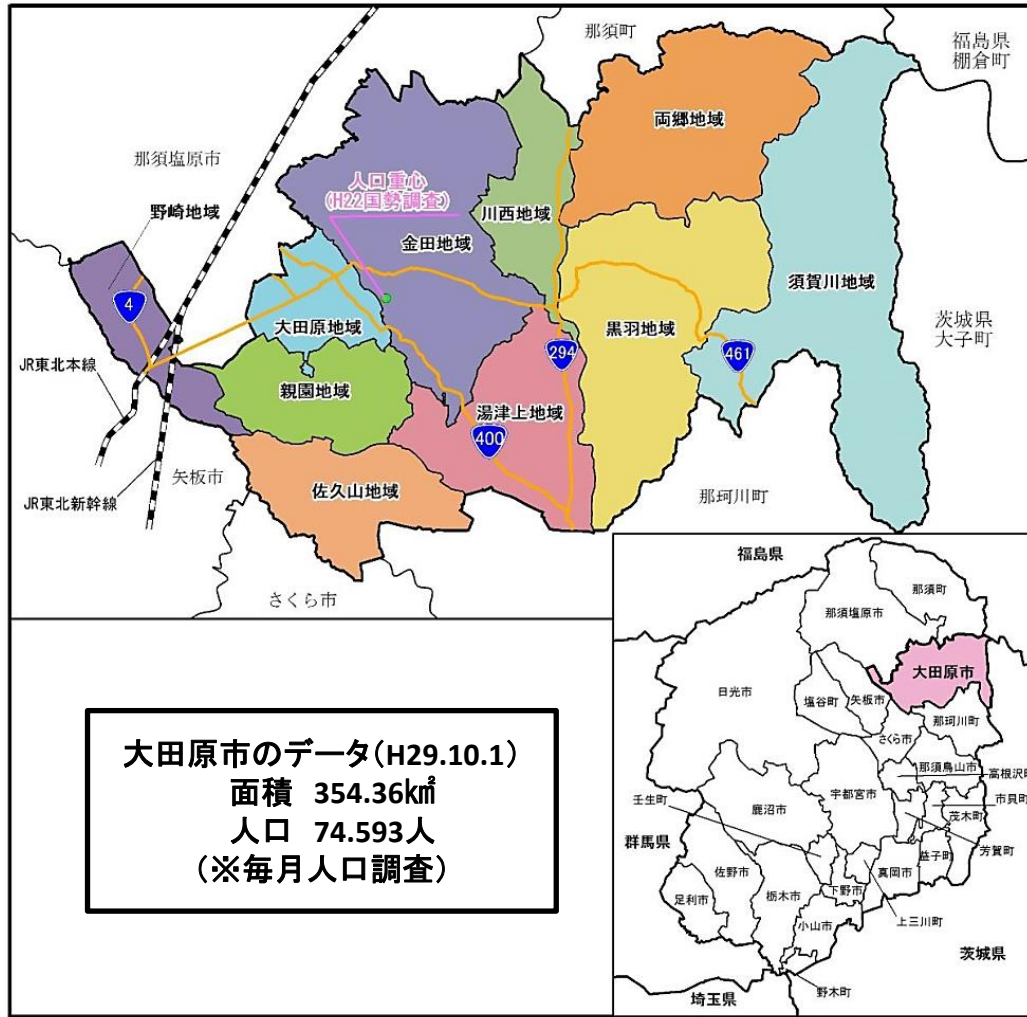


# 大田原市の概要（地域の特徴、交通）



## 【地域の特徴】

大田原市は、栃木県の北東部にあり、市の中西部は、日本でも有数の鮎の漁獲量を誇る清流「那珂川」と箒川に囲まれた、那須五峰から広がる那須野が原の扇状地にあたり、東部は八溝山系の美しい山並が連なります。

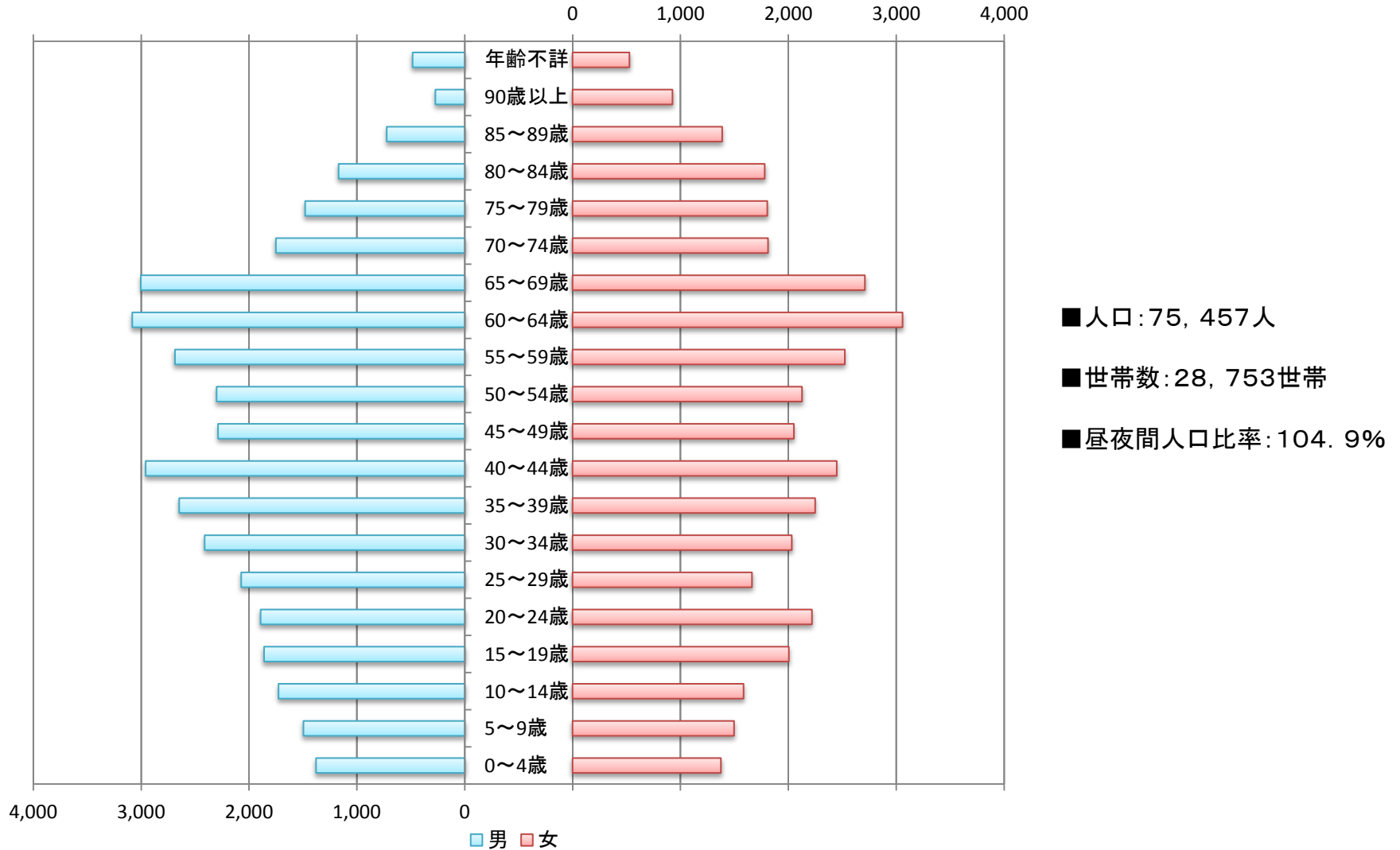
日本最古の碑である国宝の「那須国造碑」など多くの史跡が存在し、古代から住民が生活してきた長い歴史をもち、江戸時代より受け継がれた城下町を礎として、現在は、政治、経済、文化などさまざまな分野において、県北部の中心都市の役割を果たしています。

## 【交通】

- 鉄道**：JR東北新幹線利用の場合、東京駅からの所要時間は約70分、那須塩原駅から市の中心部まで市営バスまたはタクシーで約15分。
- 道路網**
  - 高速道路東北自動車道「西那須野塩原インターチェンジ」及び「矢板インターチェンジ」から市中心部まで約20分。
  - 内環状線と外環状線の2本の環状道路網を整備。
  - 国道294号、400号及び461号の3路線の国道が通過し、県北の拠点都市として道路交通網の整備が図られている。
- 市営バス**：市民生活の利便性を高めるため、民営バスに加え市営バスが循環運行しており、学生や高齢者などの日常生活に支障が生じないよう配慮されています。

# 大田原市の概要（人口：平成27年度国勢調査）

## 大田原市の人口ピラミッド(5歳階級／平成27年)



総務省統計局「平成27年度国勢調査」より作成

# 大田原市の概要（医療、教育・文化等）

1. **医療機関**: 市内の医療機関は、栃木県北部地域の基幹病院として**那須赤十字病院**があり、病院や診療所と連携を図りながら市民の診療にあたっています。
2. **教育機関**
  - 市内には、20の市立小学校と9の市立中学校、さらに青少年教育及び生涯学習施設として「**ふれあいの丘**」が整備されています。
  - 高等学校は、県立の普通高校が3校配、定時制高校が1校。
  - 平成7年4月には、医療、福祉の総合大学として**国際医療福祉大学**が開学し、平成17年には薬学部が新設され、国内はもとより諸外国からの学生が学び、卒業後は国内外で活躍しています。
3. **文化施設**
  - 大田原市と那須塩原市の文化の向上、両市の豊かな文化の創造に寄与するため国内有数の音響を誇る**那須野が原ハーモニーホール**を設置し、コンサートや演劇、専門性の高い公演などの文化振興活動が展開されています。平成25年には日本初のシンフォニックスタイルのパイプオルガンを設置。
  - 平家物語で有名な源平屋島の合戦で見事扇の的を射落とした那須与一公の活躍を紹介する**那須与一伝承館**。
  - **国宝「那須国造碑(なすのくにのみやつこのひ)」**の建立と発見をテーマに展示を行う**なす風土記の丘湯津上資料館**。
  - 俳聖松尾芭蕉が「おくのほそ道」の旅程で最長となる14日間を黒羽の地で逗留し、多くの足跡を残したことを紹介する**黒羽芭蕉の館**。



■ ふれあいの丘



■ 那須野が原  
ハーモニーホール



■ 黒羽芭蕉の館

# 大田原市の概要（産業、観光）

## ■産業

### 1.工業

- 首都圏より150キロメートル圏内にあり、自然災害が少なく地震に強い地盤と調和のとれた自然環境、豊富な工業用水などの立地環境を活かした田園工業都市。
- 製造業事業所は160社（平成29年工業統計調査）で、製造品出荷額は6,336億円（県内6位）。
- 野崎工業団地、野崎第二工業団地、中田原工業団地、品川台工業団地の4か所の工業団地を有し、医療機器・通信機器製造をはじめとする高度な最先端の技術を有した優良企業が操業している。また、2019年度より中田原工業団地に株式会社資生堂「資生堂那須工場」が稼働予定。
- 産学官連携推進委員会を組織し、国際医療福祉大学や宇都宮大学との連携に取り組み、農商工連携・医工連携を中心に研究会活動による調査研究、情報収集、新製品開発、新事業創出への取組を積極的に推進。

### 2.農業

- 水稲は県内第1位の生産量を誇り、とうがらし、ウド、ニラ、ねぎ、アスパラガスなどの野菜、ブルーベリー、スイカ、イチゴ、梨、ぶどうなどの果樹が栽培され好評を得ている。また、お茶、コンニャクなどの特用作物も生産され、畜産関係では、上質の和牛や乳牛の飼育が盛ん。

### 3.商業

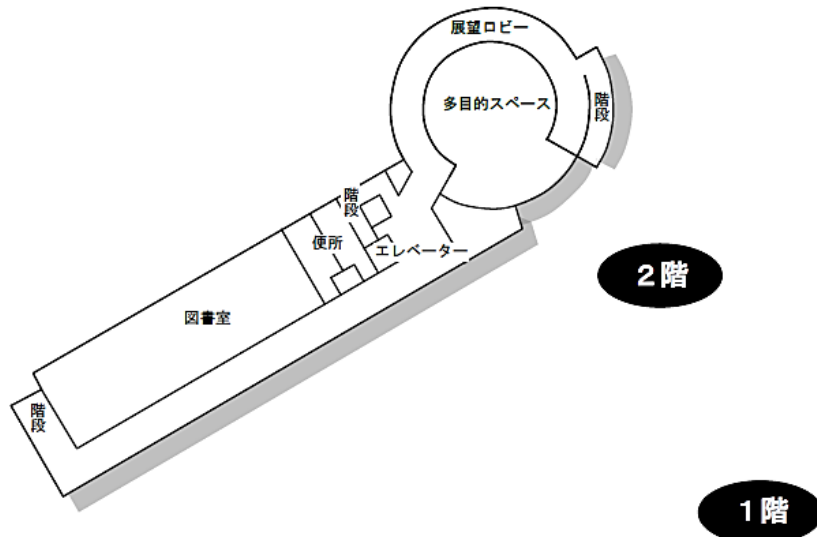
- 内環状線沿いにデパート、スーパーマーケット、生活雑貨店、家電量販店、書店などが進出。
- 中心市街地の活性化として、平成25年にオープンした複合施設「トコトコ大田原」を核とした賑わい創出を図っている。

## ■観光

- 日本有数の鮎の漁獲量を誇る清流「那珂川」での釣り、鮎を食べることのできる「黒羽観光やな」
- 八溝山系の主峰「八溝山（やみぞさん）」や富士山を遠望できる「御亭山（こてやさん）」などの森林
- 日本でも珍しい淡水魚の水族館である県立「なかがわ水遊園」
- 大田原市の農産物や特産物の直売施設である道の駅「那須与一の郷」
- 豊かな自然の中に8つの天然温泉、9か所のゴルフ場、宿泊施設や公園など多くの観光施設。
- 雲巖寺、大雄寺などの古刹、那須国造碑や侍塚古墳などの歴史的遺産や文化財に恵まれた地域。



# 分庁舎（湯津上庁舎）平面図（簡易版）



## ■施設概要

庁舎	
構造規模	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上2階地下1階建て
建築面積	2,685.13㎡
延べ面積	3,328.29㎡ 地上2階 653.54㎡ 地上1階 2,192.77㎡ 地下1階 481.98㎡
高さ	13.950m



新庁舎建設・移転により発生する  
スペース(約800㎡)

※詳細は別添「施設概要書」「平面図」を  
ご参照ください。

# 分庁舎（湯津上庁舎）位置図



※周辺施設等の詳細は別添「湯津上支所周辺図」「周辺施設情報等」をご参照ください。

